

要求公表・予算案公表

事業番号	08 04 37	事業改善シート（25年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☒ 補正予算案	☐ 点検
事業名	水産試験場運営費			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1－3 夢に挑戦する農業			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
		◆自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	S56 ～	

1 事業の概要

目指す姿	水産試験場の保守及び維持管理、予算の適正な執行により、県内水産業の発展に寄与する。						
現状	水産試験場の各施設及び各種機器共に老朽化が進んでいるため、保守、維持管理に苦慮している。						
県が関与 する理由	☐ 法令等義務 ☐ 内部管理 ☒ 県でなければ実施不可		【左記の説明、根拠法令等】 ☐ 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 県の水産業振興に必要な場の運営に係る費用 ☐ その他()				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H25) ○水産試験場の保守及び維持管理、予算の適正な執行により、県内水産業の発展に寄与する。 運営費は試験研究費、技術指導費、種苗開発費の下支えするものであることから、成果目標は他の目標と同じとする(新たな知見の獲得 7件、技術指導回数 1,000件、卵・稚魚の出荷 113万粒、288万尾) ○本県水産業の持続的競争力とブランド力の強化につながる種苗生産能力の向上(H30年度：信州サーモン30万尾→36万尾)及び研究開発機能(耐病系信州サーモンの開発促進)の強化(6月補正) ○本県観光資源である川魚の無病化と定着化に向けた河川放流大型種苗の供給促進(H26年度：アユ1gサイズ130万尾→1gサイズ110万尾と10gサイズの供給10万尾)(9月補正) ○台風18号豪雨により木曽試験地河川水取水施設が埋没したため、別系統湧水取水施設からの取水を増量するための導水管等施設を増設(11月補正)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H25実施内容	H25 (補正前) (2月補正) (補正後)			
	運営費	直接	水産試験場の保守及び維持管理、予算の執行	37,969		37,969	
	夢に挑戦する農業を支える新技術開発の促進	直接	種苗生産施設及びバイオテクノロジー品種開発施設の施設・設備等の整備(6月補正)	75,952	-38,067	37,885	
	夢に挑戦する農業を支える新技術開発の促進	直接	アユ種苗センターの施設・設備の整備(9月補正)	2,666		2,666	
	水産試験場木曽試験地取水施設整備事業	直接	木曽試験地の湧水取水施設等の整備(11月補正)	39,899		39,899	
		合計	156,486	-38,067	118,419		
事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25補正後		
	予算額	前年度繰越		6,300			
		当初予算	35,411	39,253	36,466	37,969	
		補正予算	9,449		2,992	80,450	
		合計(A)	44,860	45,553	39,458	118,419	
	Aの財源	国庫支出金				60,500	
		県債					
		その他	1,589	895	3,534	3,299	
		一般財源	43,271	44,658	35,924	54,620	
	決算額(B)	88,865	81,001	39,458			
概算人件費	職員数(人)	4.70	4.70	4.70	4.70		
	概算人件費(C)	39,090	38,813	38,813	38,813		
	概算事業費(B(A)+C)	127,955	119,814	78,271	157,232		
(注)22,23年度の決算額(B)は水産試験場費総額							
要求からの主な変更点		要求どおり					